

A-ZIP

システム開発時の注力すべき工程に注力する S A A P

システムの開発を外部に委託すると、受託会社と議事録や仕様書、内示書の確認といった煩雑なやりとりが発生する。また、委託側で作成した仕様確認書の内容が不十分だった場合、委託側の要望が受託会社に上手く伝わらず、想定とは異なるシステムが完成してしまう可能性がある。これらの課題を解決するのが、A-ZIPが自社開発のノーコード・ローコード開発ツール「SAAP」を利用して行うスクラッチ開発だ。

ノーコードによるバグの減少

A-ZIPは、企業向けの基幹システム・業務システムを中心に、要件定義からアフターフォローワーまで一気通貫で対応する企業だ。

同社は、自社開発のノーコード・ローコード開発ツール「SAAP」を利用したスクラッチ開発を行うことで、顧客に高品質なシステムを提供している。

SAAPを利用したスクラッチ開発の特長は三つある。一つ目は、要件定義、ヒアリング段階におけるシステムの見える化だ。SAAPはノーコードで即座にデモプログラムを作成できるため、顧客は要件定義の段階で実際のシステムを見ることができた。顧客と共に実際のシステムの仕様を確認することで、認識の齟齬を減らせるのだ。結果として、完成したシステムが顧

客の想定したものと異なるというシステム開発で発生しがちな問題を防げる。さらに手戻りを減らすことで、金銭的な問題で搭載が難しかった複雑な機能や、使いやすさ・分かりやすさを追求したUI画面を、従来と同じ費用の中で追加可能だ。

また、顧客は早期から実際のシステムの画面

を確認できることで、システム導入後のイメージを早期の段階でつかめるのだ。システム導入後、顧客は素早く操作に慣れ、安定稼働期に入れる。

二つ目はシステムのバグの減少だ。

バグの原因の一つに、ソースコードを人の手で書くことがある。

SAAPはノーコードで高機能なシステムを作成できるため、人の手でコーディングする箇所を減らせる。

結果としてバグの減少につながり、

高品質なシステムを作成できるのだ。

さらに作成時のバグが少ないので、顧客がシステムを導入した後、システムの不具合を最小限に抑えられる。その結果顧客は、不具合に端を発する問い合わせ対応の負担軽減が可能になる。

三つ目はシステムのクラウド化だ。

SAAPを用いて業務システムを作成すると、Access用

のフォームとレスポンシブWeb画面が作成され、データベースはMicrosoft Azure上に構築される。

そのため顧客は、容易に業務システムをクラウドに刷新可能だ。

加えて、データがAzure上に構築されることで、優れたセキュリティ機能やバックアップ・リストア機能といった

Azureのメリットを享受できる。



SAAP

システム仕様の認識の齟齬を減少

SAAPは、A-ZIPが自社開発したノーコード・ローコード開発ツールだ。同社はSAAPを利用したスクラッチ開発によって、顧客に高品質なシステムを提供する。システムのデモプログラムを即座に作成可能なSAAPを要件定義の段階で利用することで、実際のシステム画面を顧客と確認でき、システム仕様の認識の齟齬を減らせる。さらに、顧客は早期から実際のシステム画面を確認できるので、システム導入後のイメージを早い段階でつかめるのだ。システムの作成はノーコードで行うため、人の手でコーディングする箇所を減らすことによって、バグの減少に貢献する。



SAAPを利用したスクラッチ開発の注力ポイント



SAAPを利用したスクラッチ開発の四つのメリット



株式会社 A-ZIP

<https://a-zip.co.jp/>

設立 2016年8月
本社 兵庫県神戸市中央区生田町1-4-20 新神戸ビルディング
社員数 36人

事業内容 全国的企业に向けて、自社開発のノーコード・ローコード開発ツールを利用した基幹システム・業務システムの受託開発などの事業を展開している。



執行役員
マーケティングディレクター
三鍋俊介氏

